

キヤノンマーケティングジャパングループ 2018年度第3四半期 決算説明

2018年10月25日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

取締役専務執行役員 松阪 喜幸



キヤノンマーケティングジャパン株式会社

■本資料では、億円単位未満の端数は四捨五入により表示しております。

■本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

売上高 **1,474億円** (**前年比△52億円 / △3%**)

✓エンタープライズセグメントで増収となったものの、コンシューマ・エリア・プロフェッショナルの各セグメントで減収となり、売上は減少。

営業利益 **62億円** (**前年比△12億円 / △16%**)

✓全社的に販管費の削減に取り組んだものの、荒利の減少をカバーできず、減益。

**親会社株主に帰属する
四半期純利益** **41億円** (**前年比△0億円 / △1%**)

業績サマリー 第3四半期(7~9月)実績



(単位：億円)

■ 業績サマリー

	2017年 3Q	2018年 3Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	1,526	1,474	△52	△3%
売上総利益	(35.9%) 548	(35.3%) 520	(△0.6%) △28	△5%
営業利益	(4.9%) 74	(4.2%) 62	(△0.7%) △12	△16%
経常利益	(4.9%) 75	(4.3%) 63	(△0.6%) △12	△16%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(2.7%) 41	(2.8%) 41	(+0.1%) △0	△1%

■ 営業利益分析



セグメント概要 第3四半期(7~9月)実績

(単位：億円)

	2017年 3Q		2018年 3Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	387	31	353	15	△34	△17
エンタープライズ	432	19	458	19	+26	+0
エリア	623	26	614	32	△9	+7
プロフェッショナル	143	△2	111	△4	△32	△2
その他	△59	1	△62	0	△3	△1
合 計	1,526	74	1,474	62	△52	△12

※1.「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2.2018年3Qより、「エンタープライズ」に含めておりましたキヤノンビズアテンダ(株)の報告セグメントを「その他」に変更しております。

これに伴い、2017年実績及び2018年1Q-2Q実績の組替を行っております。

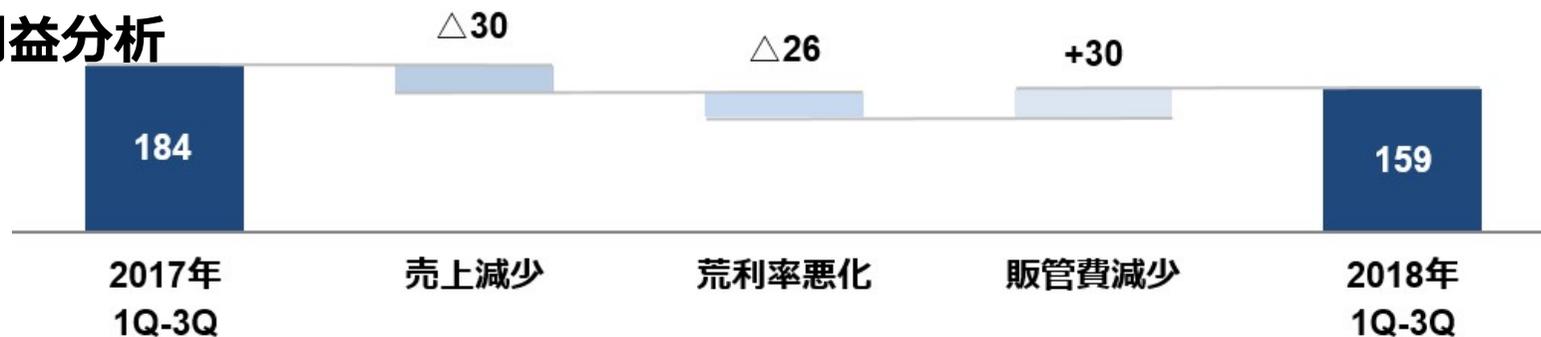
業績サマリー 第3四半期(1~9月)実績

(単位：億円)

■ 業績サマリー

	2017年 1Q-3Q	2018年 1Q-3Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	4,562	4,479	△83	△2%
売上総利益	(35.6%) 1,626	(35.1%) 1,570	(△0.6%) △55	△3%
営業利益	(4.0%) 184	(3.5%) 159	(△0.5%) △25	△14%
経常利益	(4.2%) 193	(3.9%) 173	(△0.4%) △20	△10%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(2.7%) 125	(2.6%) 116	(△0.2%) △10	△8%

■ 営業利益分析



セグメント概要 第3四半期(1~9月)実績

(単位：億円)

	2017年 1Q-3Q		2018年 1Q-3Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	1,093	57	963	4	△130	△53
エンタープライズ	1,311	55	1,391	68	+80	+13
エリア	1,934	80	1,908	92	△26	+12
プロフェッショナル	400	△12	400	△6	+0	+5
その他	△177	4	△184	2	△7	△2
合 計	4,562	184	4,479	159	△83	△25

※1.「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2.2018年3Qより、「エンタープライズ」に含めておりましたキヤノンビズアテンダ(株)の報告セグメントを「その他」に変更しております。

これに伴い、2017年実績及び2018年1Q-2Q実績の組替を行っております。

売上高 353億円 (前年比 Δ 34億円 / Δ 9%)

▶ミラーレスカメラは順調に推移したものの、レンズ交換式デジタルカメラ全体で減少。
インクジェットプリンターもカートリッジが大幅に減少し、セグメント全体で減収。

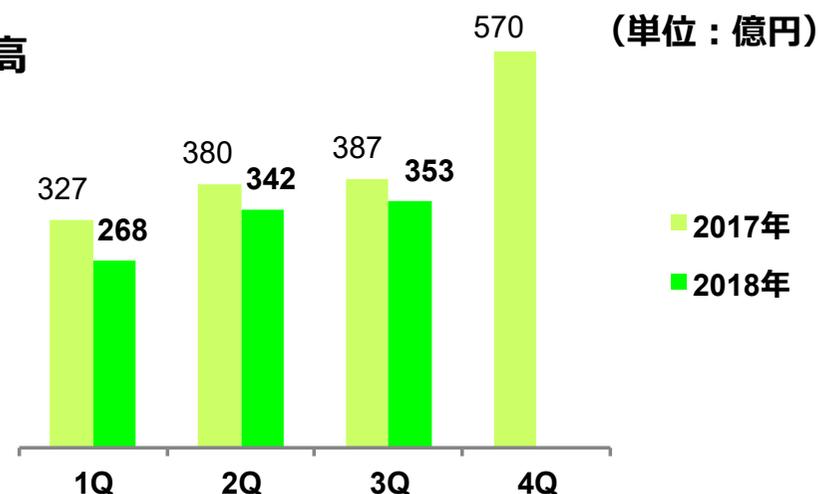
営業利益 15億円 (前年比 Δ 17億円 / Δ 53%)

▶販管費の削減に努めたものの、売上減に伴う荒利減をカバーできず、減益。

■対前年増減

	2017年 1Q-3Q	2018年 1Q-3Q	増減
売上高	1,093	963	Δ 130
営業利益	57	4	Δ 53

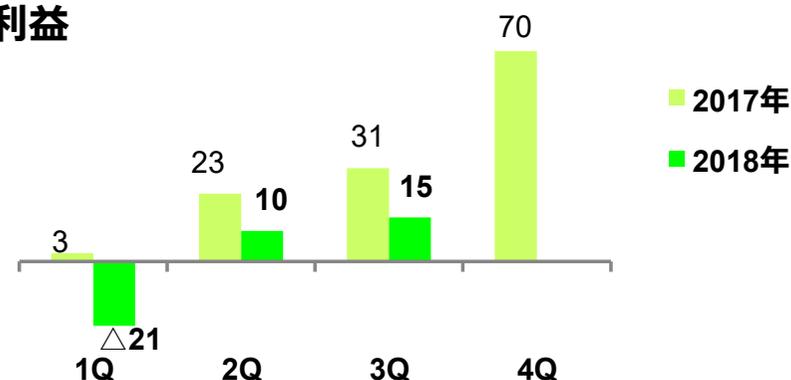
■売上高



■売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2018年	Δ 18%	Δ 10%	Δ 9%	-	-

■営業利益



売上高 458億円（前年比 +26億円 / +6%）

▶ 製造業や流通業向けを中心にソリューションビジネスが伸長。SIビジネスやデータセンタービジネスも増加し、増収。

営業利益 19億円（前年比 +0.4億円 / +2%）

▶ 不採算案件が一時的に発生したこと等により荒利が減少したものの、販管費の削減に取り組み、増益を確保。

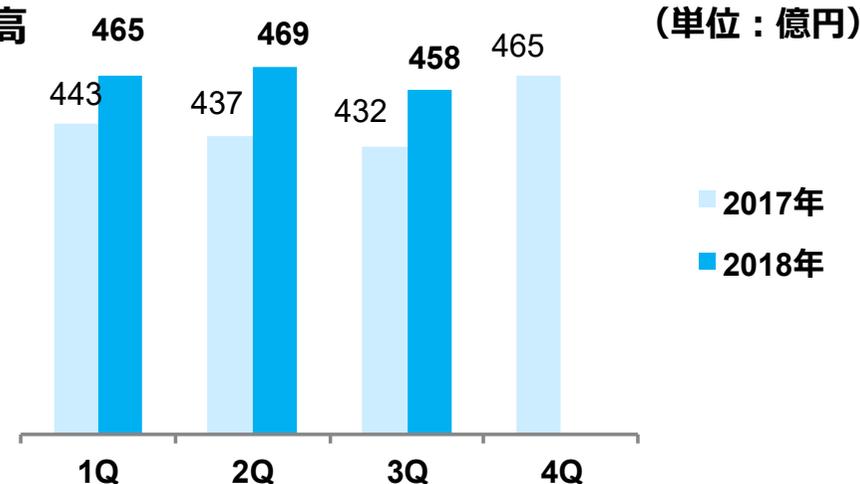
■ 対前年増減

	2017年 1Q-3Q	2018年 1Q-3Q	増減
売上高	1,311	1,391	+80
営業利益	55	68	+13

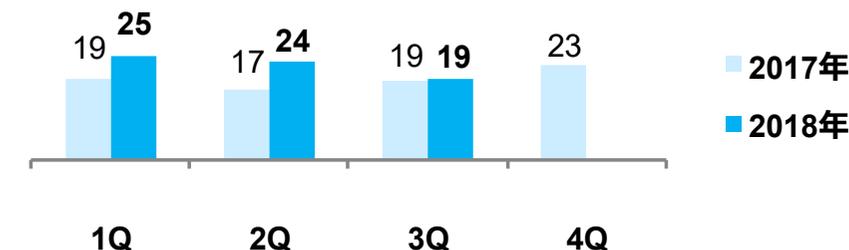
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2018年	+5%	+7%	+6%		

■ 売上高 (単位：億円)



■ 営業利益



売上高 614億円（前年比 Δ 9億円 / Δ 1%）

➢ ITソリューションが増加したものの、主要ハードウェアが減少し、減収。

営業利益 32億円（前年比 +7億円 / +26%）

➢ レーザープリンターカートリッジ等の増収による荒利の増加および、販管費の削減により、増益。

■対前年増減

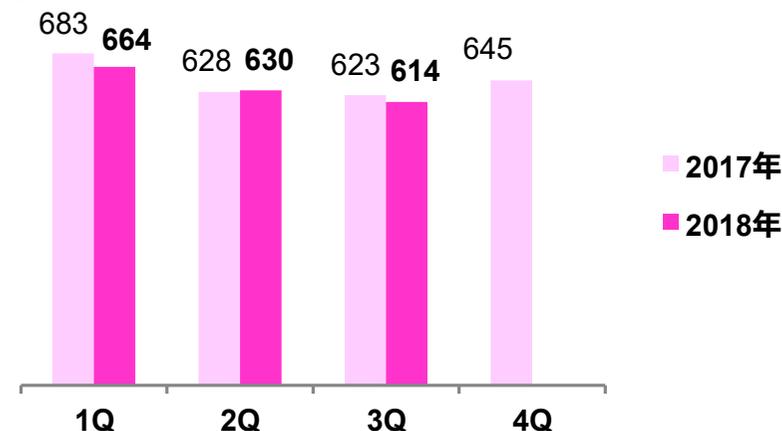
	2017年 1Q-3Q	2018年 1Q-3Q	増減
売上高	1,934	1,908	Δ 26
営業利益	80	92	+12

■売上高 対前年同期増減

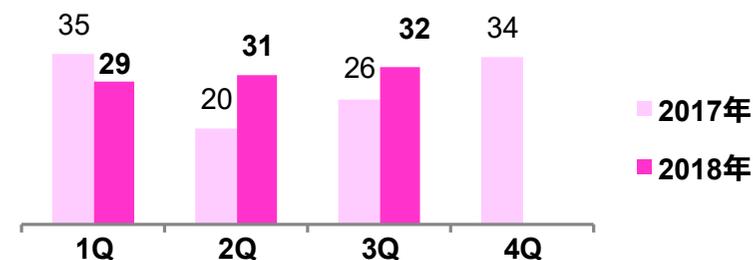
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2018年	Δ 3%	+0%	Δ 1%		

■売上高

（単位：億円）



■営業利益



売上高 111億円 (前年比 Δ 32億円 / Δ 23%)

▶ヘルスケアが低調に推移したこと等により、減収。

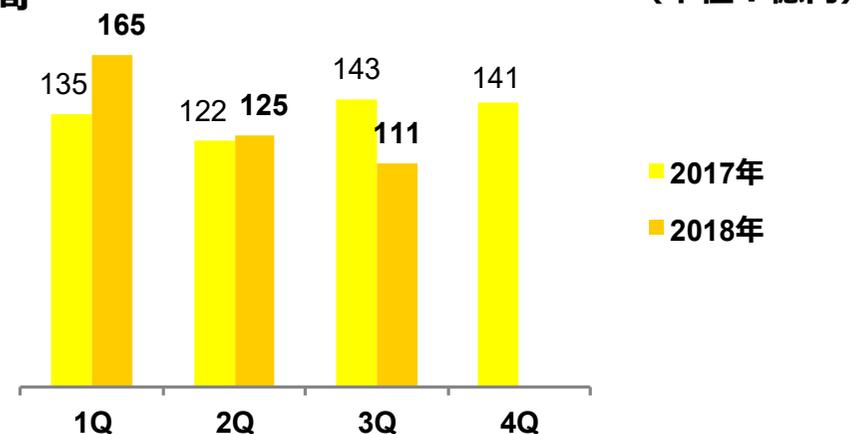
営業利益 Δ 4億円 (前年比 Δ 2億円 / -%)

▶売上減に伴う荒利減の影響により減益。

対前年増減

	2017年 1Q-3Q	2018年 1Q-3Q	増減
売上高	400	400	+0
営業利益	Δ 12	Δ 6	+5

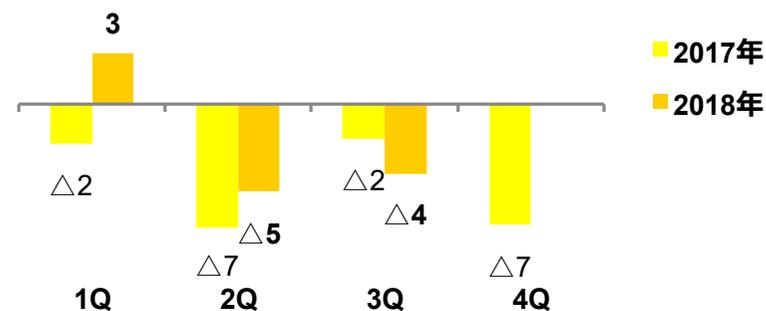
売上高



売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2018年	+22%	+3%	Δ 23%	-	-

営業利益



■売上高対前年増減

	2018年
	3Q (7-9月) 実績
プロダクションプリンティング	+1%
産業機器	△33%
ヘルスケア	△32%
映像ソリューション	△0%

■プロダクションプリンティング

高速連帳プリンターと高速カットシートプリンターが微増となり、増収。

■産業機器

半導体分野で一時的に案件が落ち着いたことに加え、非半導体の計測装置で海外取引先との販売代理店契約が終了したことにより、減収。

■ヘルスケア

病院向けのモダリティ案件等が低調に推移したことにより、減収。

■映像ソリューション

ネットワークカメラ事業は若干減少したものの、放送事業者向けが微増となり、ほぼ横ばい。

全社ITソリューション売上

(単位：億円)

	2017年 3Q	2018年 3Q	増減	
			金額	率
エンタープライズ	262	287	+25	+10%
エリア	133	139	+6	+4%
その他	48	49	+1	+3%
合計	443	476	+33	+7%

	2017年 1Q-3Q	2018年 1Q-3Q	増減	
			金額	率
エンタープライズ	796	879	+82	+10%
エリア	420	436	+16	+4%
その他	129	141	+12	+10%
合計	1,345	1,456	+111	+8%

【参考】全社ITセキュリティ売上高

	対前年 増減率	
	3Q	1Q-3Q
全社ITセキュリティ	+1%	△0%

業績予想サマリー



(単位：億円)

	2018年 年間 (前回予想)	2018年 年間 (予想)	増減		【参考】 2017年 年間 (実績)	前年比較	
			金額	率		金額	率
売上高	6,250	6,200	△50	△1%	6,322	△122	△2%
	(4.6%)	(4.4%)	(△0.2%)		(4.8%)	(△0.5%)	
営業利益	285	270	△15	△5%	304	△34	△11%
	(4.8%)	(4.6%)	(△0.2%)		(5.0%)	(△0.4%)	
経常利益	300	285	△15	△5%	315	△30	△9%
	(4.8%)	(4.6%)	(△0.2%)		(5.0%)	(△0.4%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	202	190	△12	△6%	207	△17	△8%
	(3.2%)	(3.1%)	(△0.2%)		(3.3%)	(△0.2%)	

業績予想 セグメント概要 前回予想比較

(単位：億円)

	2018年 年間 (前回予想)		2018年 年間 (予想)		前回予想比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,545	94	1,510	80	△35	△2%	△14
エンタープライズ	1,850	85	1,850	85	-	-	-
エリア	2,565	118	2,550	118	△15	△1%	-
プロフェッショナル	555	△12	544	△13	△11	△2%	△1
その他	△265	0	△254	0	+11	-	-
合計	6,250	285	6,200	270	△50	△1%	△15

※1.「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2.2018年3Qより、「エンタープライズ」に含めておりましたキヤノンビズアテンダ(株)の報告セグメントを「その他」に変更しております。

これに伴い、2017年実績及び2018年1Q-2Q実績の組替を行っております。

業績予想 セグメント概要 前年比較



(単位：億円)

	2017年 年間 (実績)		2018年 年間 (予想)		前年比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,663	127	1,510	80	△153	△9%	△47
エンタープライズ	1,776	77	1,850	85	+74	+4%	+8
エリア	2,579	114	2,550	118	△29	△1%	+4
プロフェッショナル	541	△19	544	△13	+3	+0%	+6
その他	△238	4	△254	0	△16	+7%	△4
合計	6,322	304	6,200	270	△122	△2%	△34

※1.「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2.2018年3Qより、「エンタープライズ」に含めておりましたキヤノンビズアテンダ(株)の報告セグメントを「その他」に変更しております。

これに伴い、2017年実績及び2018年1Q-2Q実績の組替を行っております。

コンシューマ

- 4Q：キヤノン初のフルサイズミラーレスカメラ「EOS R」を中心に、ミラーレスカメラの増加を見込むものの、一眼レフカメラやインクジェットプリンターの減少により、売上は対前年減収を見込む。営業利益はミラーレスカメラの売上増による荒利増と販管費削減により増益を見込む。
- 年間：売上は、デジタル一眼レフカメラやインクジェットプリンターの減少により、前回計画より35億円下方修正し、1,510億円を見込む。営業利益は、減収に伴う減益により、前回計画から14億円下方修正し、80億円を見込む。

エンタープライズ

- 4Q：売上は、製造業向けを中心にソリューションビジネスが増加するも、前年同期に大型基盤案件や、オフィスMFPの大型案件があった反動等により、対前年減収を見込む。営業利益は、減収にともなう荒利減や、大型案件による荒利率の低下等により、減益を見込む。
- 年間：売上・営業利益ともに前回計画から変更なし。

エリア

■ 4Q：セキュリティや各種IT導入支援・運用保守などのITソリューションビジネスが引き続き増加するとともに、主力ビジネス機器の出荷も増加するものの、保守サービスの減少や、3Qにレーザープリンターカートリッジの駆け込み需要があった反動減等により、売上は対前年微減を見込む。営業利益は、保守サービスやカートリッジといった荒利率の高いビジネスの売上が減少することや、オフィスMFPの拡販にともなう費用の増加等により、減益を見込む。

■ 年間：売上は、3Qの下振れ分と4Qの見通しを踏まえ、前回計画より15億円下方修正し、2,550億円を見込む。営業利益は変更なし。

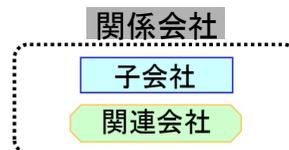
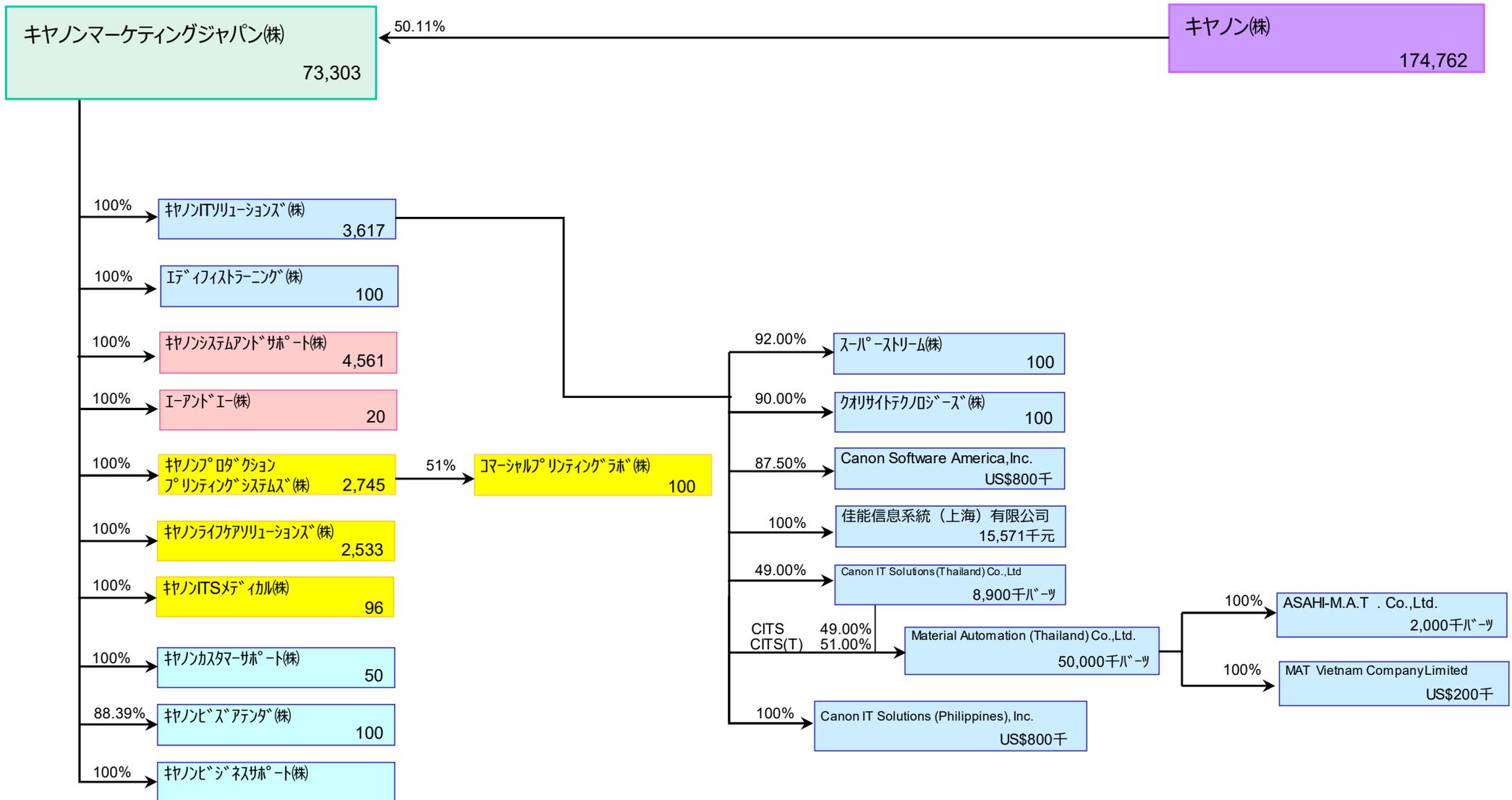
プロフェッショナル

■ 4Q：ヘルスケアで商談が4Qにシフトしていることや映像ソリューションで大型案件が控えていることから順調に推移し、セグメント全体で増収増益を見込む。

■ 年間：売上は、ヘルスケアの進捗が想定より遅れたため、前回計画より11億円下方修正し、昨年とほぼ同じ544億円を見込む。営業利益は、前回計画より1億円下方修正するも、対前年6億円改善のマイナス13億円を見込む。

參考資料

【参考】関係会社出資関係図



2018.9.30 現在

【参考】主要関係会社実績 第3四半期(7~9月)実績



(単位：億円)

		2017年 3Q		2018年 3Q		増減	
						金額	率
エンタープライズ							
キヤノンITソリューションズ	売上高	210.1		227.3		+17.2	+8%
	営業利益	14.0	(6.7%)	14.7	(6.5%)	+0.7	(Δ0.2%)
エリア							
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	292.1		285.1		Δ7.0	Δ2%
	営業利益	6.9	(2.3%)	9.5	(3.3%)	+2.6	(+1.0%)
プロフェッショナル							
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	29.6		29.3		Δ0.4	Δ1%
	営業利益	Δ1.2	(-)	Δ0.9	(-)	+0.3	(-)
キヤノンライフケアソリューションズ	売上高	40.6		24.4		Δ16.3	Δ40%
	営業利益	2.1	(5.3%)	Δ0.6	(-)	Δ2.7	(-)

【参考】主要関係会社実績 第3四半期(1~9月)実績



(単位：億円)

		2017年 1Q-3Q		2018年 1Q-3Q		増減		
						金額	率	
エンタープライズ								
キヤノンITソリューションズ	売上高	620.2		662.3		+42.1		+7%
	営業利益	39.6	(6.4%)	50.7	(7.7%)	+11.1	(+1.3%)	
エリア								
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	901.8		882.1		△19.8		△2%
	営業利益	23.4	(2.6%)	26.8	(3.0%)	+3.4	(+0.4%)	
プロフェッショナル								
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	96.7		92.4		△4.2		△4%
	営業利益	△3.7	(-)	△3.5	(-)	+0.2	(-)	
キヤノンライフケアソリューションズ	売上高	109.0		85.8		△23.1		△21%
	営業利益	2.3	(2.1%)	1.2	(1.4%)	△1.0	(△0.6%)	

【参考】販管費の内訳

(単位：億円)

	2017年		2018年		増減	
	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q
広告宣伝費	19	60	20	58	+1	△2
販売促進費	11	34	9	32	△2	△3
保証費	12	39	12	36	△0	△4
その他直接費	49	151	47	144	△2	△7
人件費	306	924	296	915	△10	△9
減価償却費	5	15	3	10	△2	△5
その他販売費	71	217	70	217	△1	△0
合計	474	1,442	458	1,411	△16	△30

【参考】営業外収支の内訳

(単位：億円)

■ 営業外収益

	2017年		2018年		増減	
	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q
受取利息	0	1	0	2	+0	+0
受取配当金	0	1	0	1	+0	+0
受取保険金	0	5	0	5	+0	△0
投資事業組合運用益	-	-	△0	5	△0	+5
その他	1	4	1	3	△0	△1
合計	1	11	1	16	△0	+4

■ 営業外費用

	2017年		2018年		増減	
	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q
支払利息	0	0	0	0	△0	+0
為替差損	0	0	-	-	△0	△0
その他	0	2	0	2	△0	△0
合計	1	2	0	2	△0	△0

【参考】特別損益の内訳

(単位：億円)

■ 特別利益

	2017年		2018年		増減	
	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q
固定資産売却益	0	9	0	1	△0	△7
投資有価証券売却益	1	5	1	5	+0	△1
関係会社株式売却益	-	-	-	2	-	+2
その他	-	1	-	-	-	△1
合計	1	15	1	8	+0	△6

■ 特別損失

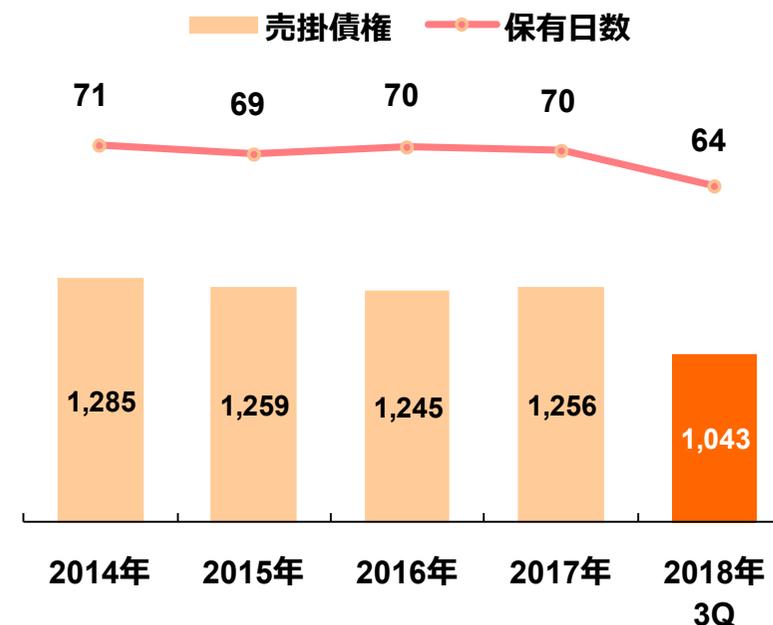
	2017年		2018年		増減	
	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q
固定資産除売却損	6	8	2	3	△5	△6
減損損失	8	8	-	0	△8	△8
投資有価証券評価損	0	0	0	1	+0	+1
退職特別加算金	-	1	-	-	-	△1
拠点再編費用	-	-	0	1	+0	+1
その他	0	0	0	1	+0	+0
合計	14	17	2	5	△12	△13

【参考】貸借対照表

	2017年 12月	2018年 9月	増減
資産	5,108	4,950	△158
流動資産	3,975	3,849	△127
金融資産	1,370	1,142	△227
売掛債権	1,256	1,043	△213
棚卸資産	339	344	+6
その他	1,010	1,319	+308
固定資産	1,133	1,102	△32
有形固定資産	751	730	△21
無形固定資産	55	47	△8
投資その他	328	325	△3
負債	2,133	1,921	△212
流動負債	1,574	1,373	△201
買掛債務	1,009	833	△176
その他	565	540	△25
固定負債	559	548	△11
純資産	2,975	3,029	+54
株主資本	3,011	3,049	+38
(自己株式)	△319	△319	△0
その他の包括利益累計額	△41	△25	+16
非支配株主持分	5	5	+0
株主資本比率	58%	61%	+3%

■売掛債権

(単位：億円)



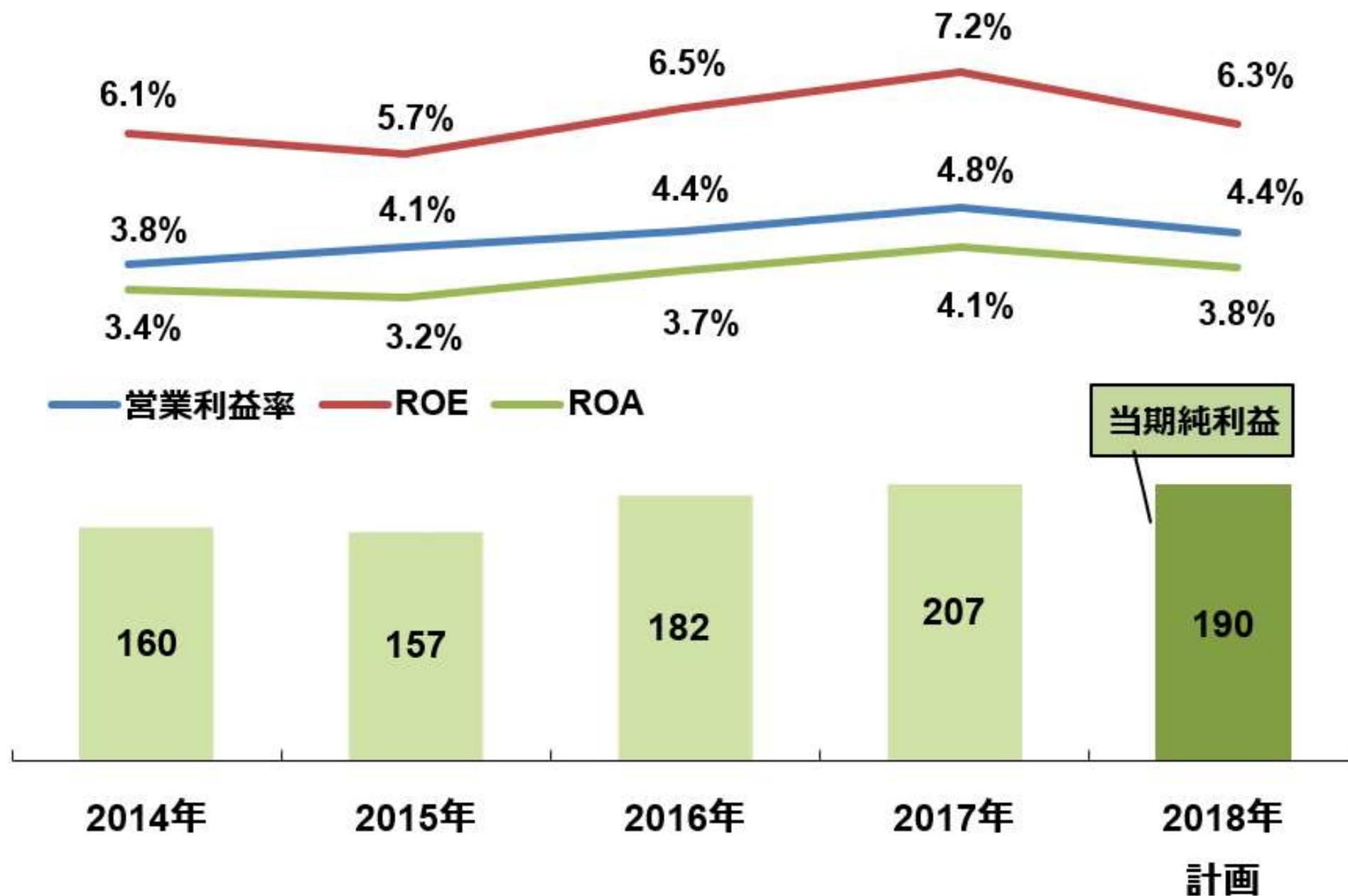
■棚卸資産



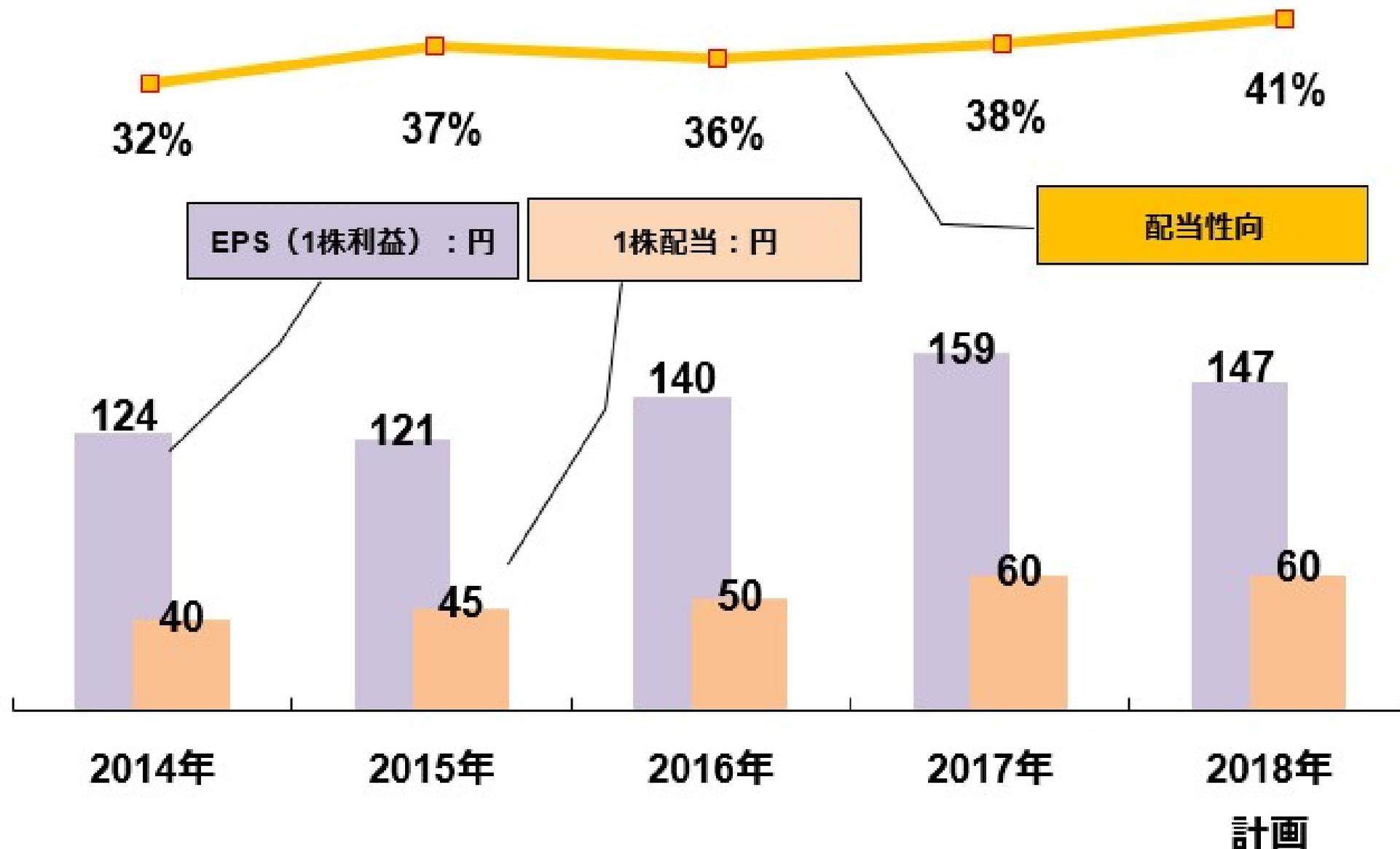
【参考】財務指標推移 営業利益率／ROA／ROE

■ 財務指標推移

(単位：億円)



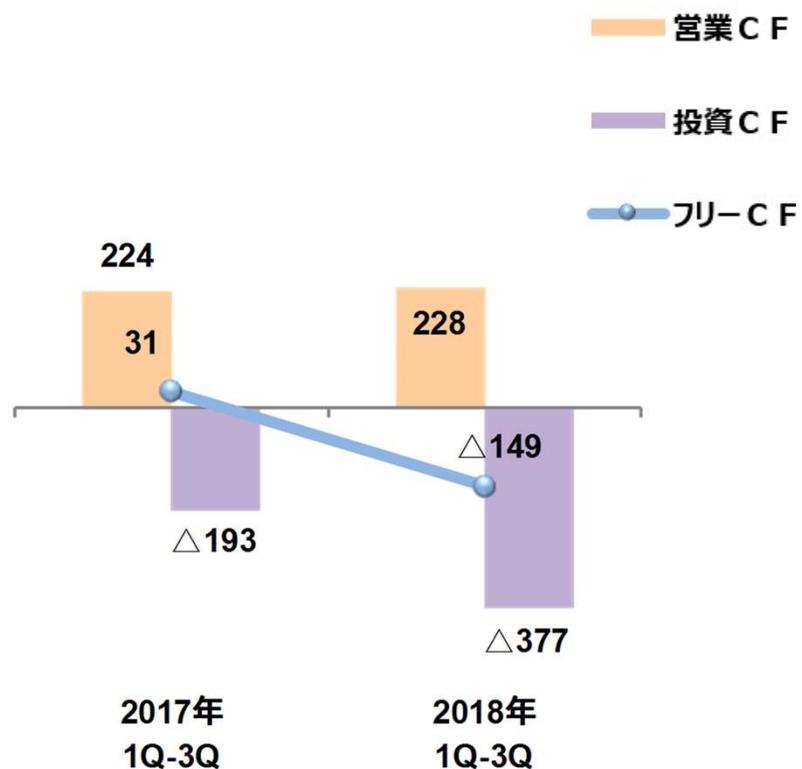
■ 財務指標推移



【参考】キャッシュ・フロー/設備投資・減価償却

(単位：億円)

■キャッシュ・フロー



■設備投資

	1Q-3Q 実績	4Q 計画	年間
2017年	93	43	137
2018年	77	44	122

■減価償却

	1Q-3Q 実績	4Q 計画	年間
2017年	107	36	143
2018年	100	30	130

Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ